

皆様のお役に立てる 財務事務所を目指して

関東財務局 千葉財務事務所長 鞆田 周一

千葉財務事務所は、財務省における現場の最前線の機関として、財政・経済・国有財産・金融に関わる幅広い仕事をしています。ミクロの地域経済調査をはじめ、財政金融の諸施策に関する情報を発信する一方で、国民の皆様からの意見や要望等をきめ細かく受信するよう努めています。また、幅広い分野の仕事をしている長所を活かし、本省庁の施策に役立つ生の情報を収集・分析したり、国民の皆様への施策の浸透に努めています。

昨年9月のリーマンショックは瞬く間に世界を駆け巡り、金融危機や経済不況が発生しました。機会があって、バブル崩壊等の難局を克服されてきた中小企業の代表者の方々にお会いし、「創業以来、経験したことのない不況」といった悲痛な声をお聞きし、改めて地元の皆様にお役に立てる仕事とは何かを考えさせられました。

現在、財務事務所は、国民の皆様の貴重な公共財である国有財産を、まちづくりのために活用したり、自然災害時における緊急救援活動等のために提供したりしています。また、県市町村への財政資金の貸付、通貨に関すること、未成年者のたばこ喫煙防止活動、戦没者の遺族の方への弔慰金（国債）の交付等の仕事をしています。さらに、多重債務でお困りの方からの相談に応じて解決に導く等、各種の金融サービスの利用者の保護にも努めています。小規模な組織ですが、親切、迅速、丁寧に対応するように心がけております。

最近の当財務事務所における取り組みの一例をご紹介しますと、将来を担う若手・中堅職員

が中心になって、「皆様のお役に立てる千葉財務事務所を目指そう」との目標を掲げました。これを具体化するためには、これまで以上に、国民の皆様や企業・地方公共団体の代表者の方々と直接お会いして生の声をお聞きし、これに伝えていく必要があります。お蔭様で関係先のご助言やご協力等もあって、県内殆どの地方公共団体や商工会議所・商工会等の関係者の方々とお会いできました。また、複雑・多様化する行政需要に応えるためには、質の高い行政サービスを限られたスタッフで効率よく提供していく必要があります。人材育成も兼ねて、若手・中堅職員と一緒に地元の企業にお邪魔し、経営活動の現状や財政政策等に関するご意見等をお聞きし、これらの情報を本省庁に伝えています。さらに、この結果は、県内経済情勢報告等として発表しており、マスコミにも報道して頂いております。このように、柔軟な発想を持って、新規採用者にも色々な実践の機会を与えております。なお、原点に立ち戻り、管理職を含む職員一同、電話応接等のビジネスマナーの研修をしたり、些細な事務でも改善に取り組みようとしています。地道ながらも、時々々の要請に即応できるよう、自助努力と意識改革を重ねていくことが大切だと思います。

60周年を機に、国民の皆様の目線に立ち、職員一人一人が与えられた任務を原点から確認し、試行錯誤を繰り返しながらも矜持を持って、これまで以上に国民の皆様にお役に立てる財務事務所を目指していきたいと思っております。